

第59回日本腎臓学会学術総会  
腎病理企画「腎疾患登録・病理診断標準化委員会企画」  
2016.6.17 パシフィコ横浜

# 腎臓病総合レジストリー (J-RBR/J-KDR) 2015年次報告と経過報告

杉山 齊<sup>1)</sup>, 佐藤 博<sup>2)</sup>, 長田道夫<sup>3)</sup>, 上田善彦<sup>4)</sup>, 横山 仁<sup>5)</sup>

1)岡山大学, 2)東北大学, 3)筑波大学,  
4)獨協医科大学越谷病院, 5)金沢医科大学

# 腎臓病総合レジストリー（J-RBR/J-KDR） 2015年次報告と経過報告



- 2007–2015 J-RBR/J-KDR累積患者数、新規登録患者数推移
- 2015 J-RBR/J-KDR登録例の概要
- 2016 上半期の登録状況
- 腎臓病総合レジストリーに関するデータ管理および利用規定、細則、遵守事項
- 二次研究、公募研究
- 関連委員会、参加施設
- 今後の課題と展望

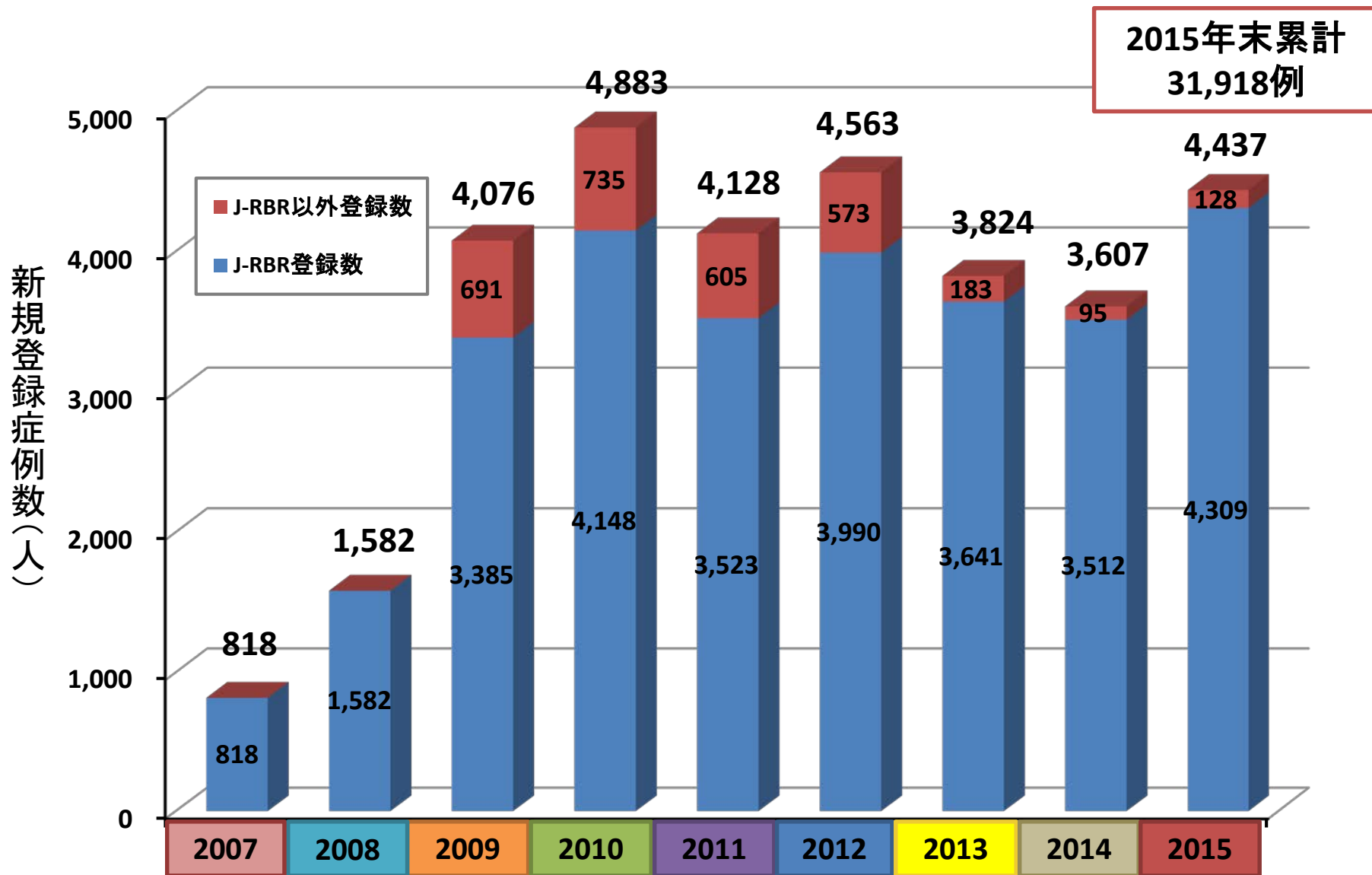


# 腎臓病総合レジストリー

- **J-RBR** Japan Renal Biopsy Registry 2007～  
腎生検レジストリー
- **J-KDR** Japan Kidney Disease Registry 2009～  
腎臓病総合レジストリー(非腎生検例含む)  
二次研究(前向き・過去起点コホート研究)  
JNSCS, J-IDCS, J-IGACS, J-RPGNCS, J-DNCS, J-PKD  
高齢者ネフローゼ症候群  
紫斑病性腎炎, ループス腎炎



# 2007-2015 J-RBR/J-KDR新規登録患者数推移



# 2015 J-RBR/J-KDR Study Population

(2015.1.1-2015.12.31登録)

## 度数分布

	男	女	計
total	2,142	1,835	3,977
J-RBR	2,072	1,786	3,858
J-RBR以外	70	49	119

## 年齢分布

	男	女	計
total	50.8 ± 21.1	48.0 ± 20.7	49.5 ± 21.0
J-RBR	50.8 ± 21.0	48.0 ± 20.7	49.5 ± 20.9
J-RBR以外	50.1 ± 24.4	48.0 ± 21.2	49.2 ± 23.1

「臨床診断」が空欄のデータ:今年度はありませんでした

「腎生検日」が2006年以前(レジストリ開始前, J-RBRのみ):2件あり →除外しました

腎生検が2回目以降の症例:458例あり →除外しました

→計3,977件を集計対象としました(J-RBR 3,858件、それ以外119件)

「臨床診断」に複数の項目がある場合は断りない限りリストの上位を選択しました

# 登録項目

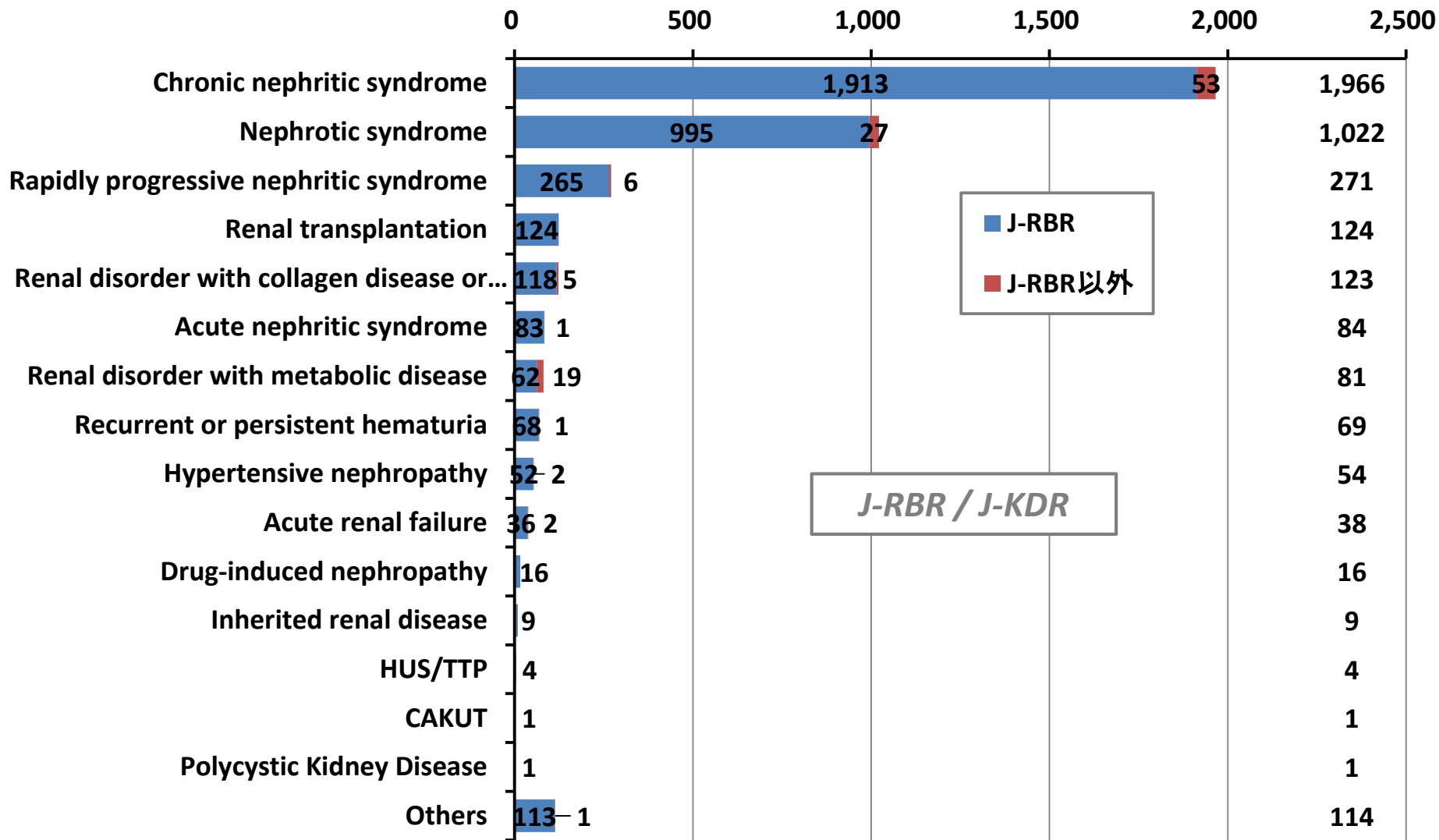
## J-RBR / J-KDR

臨床診断 ※上下各段より1項目選択可	病理組織診断1(病因分類)	病理組織診断2(病型分類)
急性腎炎症候群	原発性糸球体疾患(IgA腎症を除く)	微小糸球体変化
急速進行性腎炎症候群	IgA腎症	巣状分節性糸球体硬化症
反復性または持続性血尿	紫斑病性腎症	膜性腎症
慢性腎炎症候群	ループス腎炎	メサングウム増殖性糸球体腎炎
ネフローゼ症候群	MPO-ANCA陽性腎炎	管内増殖性糸球体腎炎
代謝性疾患に伴う腎障害	PR3-ANCA陽性腎炎	膜性増殖性糸球体腎炎(I型、III型)
膠原病・血管炎に伴う腎障害	抗GBM抗体型腎炎	Dense Deposit Disease
高血圧に伴う腎障害	高血圧性腎硬化症	半月体形成性壊死性糸球体腎炎
遺伝性腎疾患	血栓性微小血管症	硬化性糸球体腎炎
急性腎不全	糖尿病性腎症	腎硬化症
薬剤性腎障害	アミロイド腎症	急性間質性腎疾患
腎移植	アルポート症候群	慢性間質性腎疾患
先天性腎尿路異常(CAKUT) *	菲薄基底膜病	急性尿細管壊死
多発性嚢胞腎(PKD) *	感染症関連腎症	移植腎
HUS/TTP *	移植腎	その他(備考入力)
その他(備考入力)	その他(備考入力)	

\* 2010年より追加された項目

# Clinical Diagnosis

J-RBR / J-KDR



(N = 3,858 <J-RBR> / 119 <J-RBR以外>)

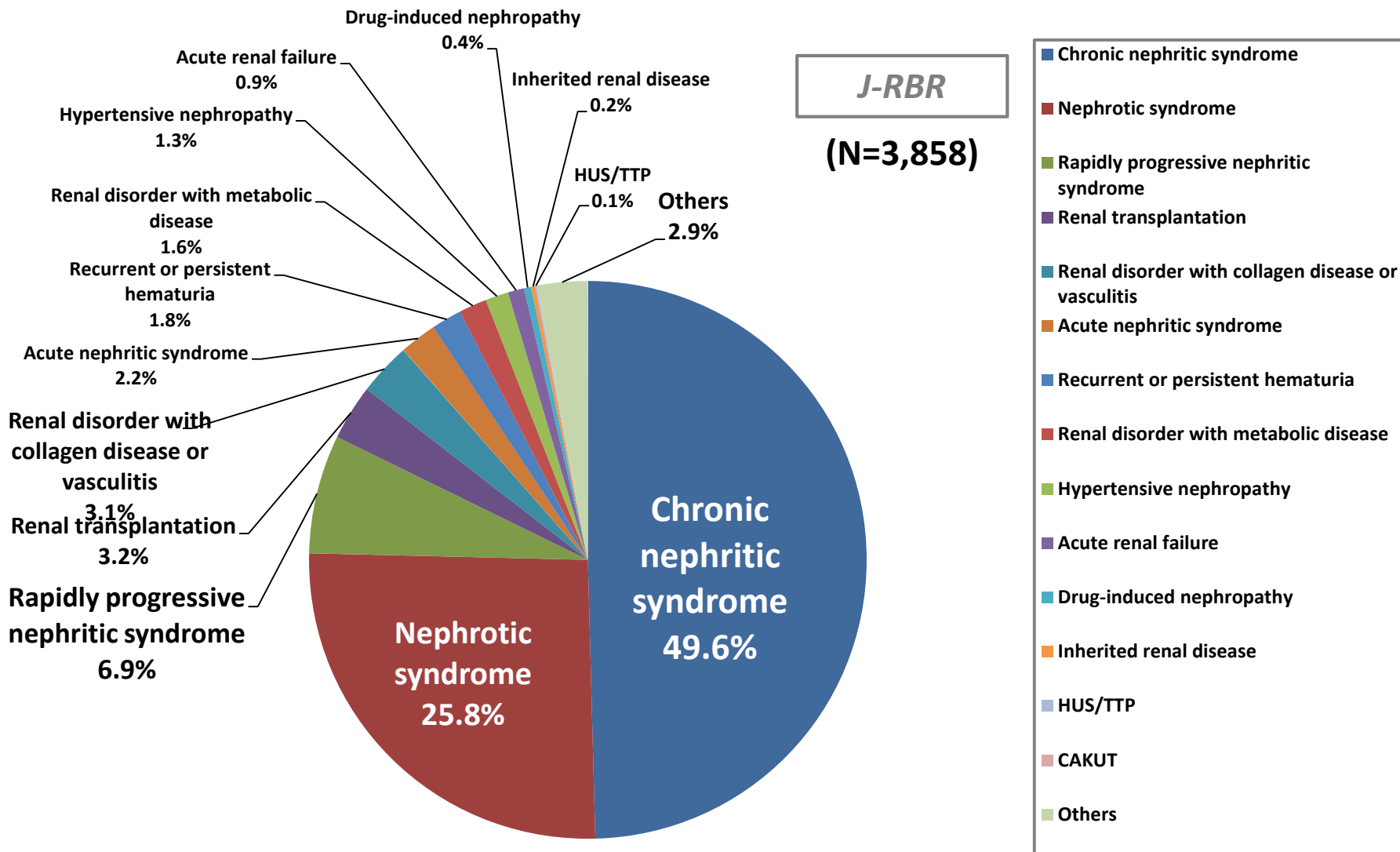


# Clinical Diagnosis

J-RBR

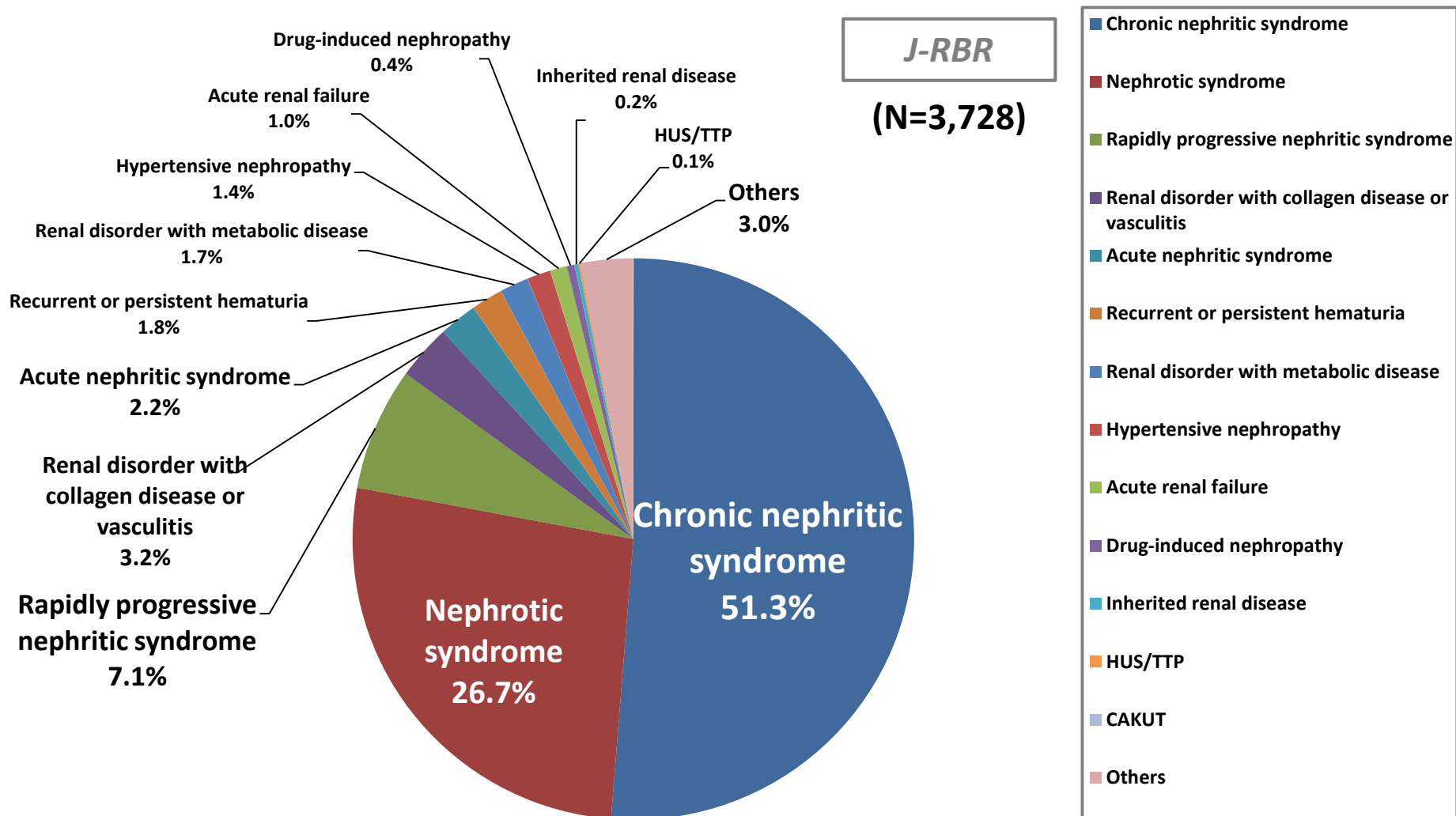
J-RBR

(N=3,858)



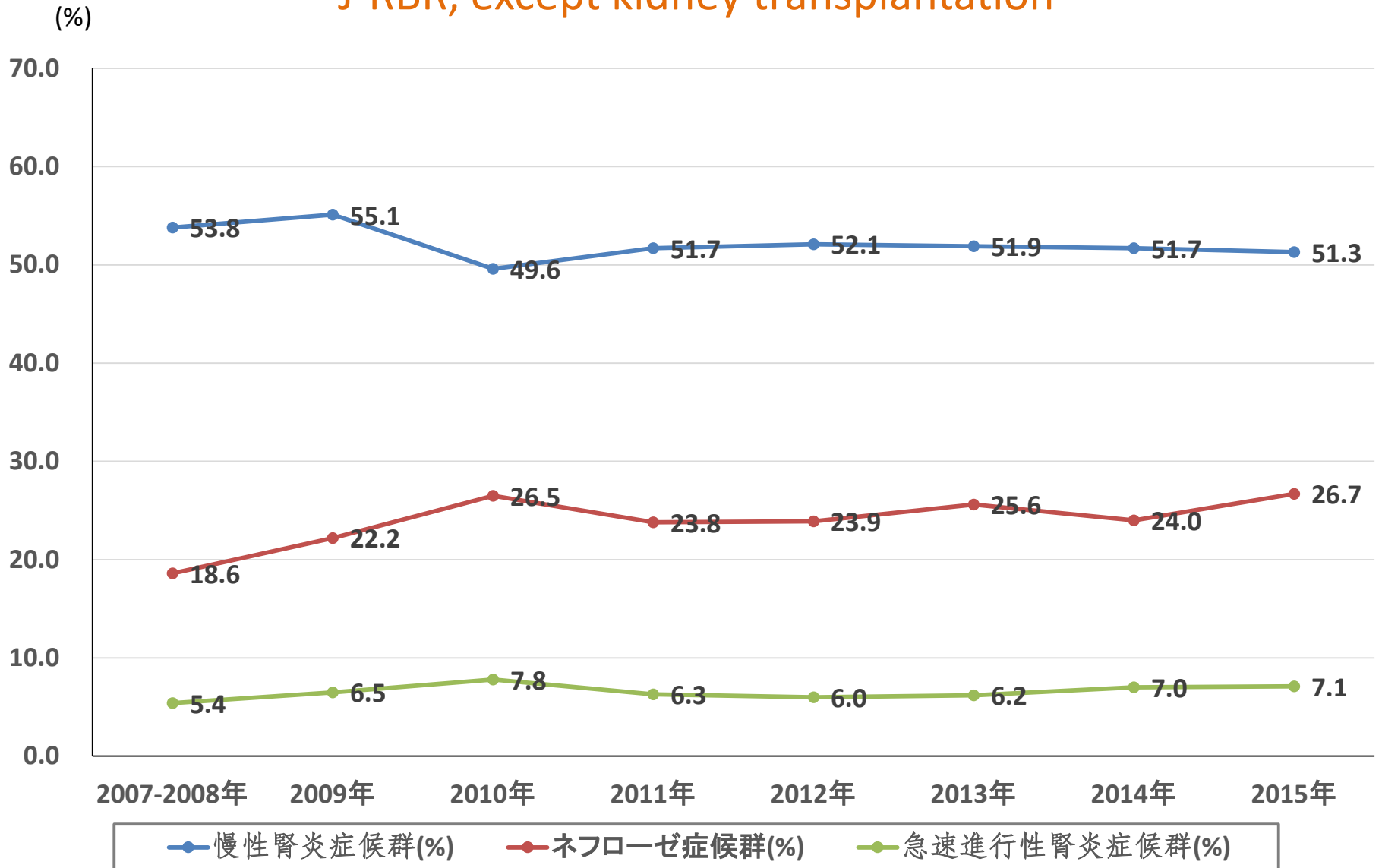
# Clinical Diagnosis

J-RBR, except kidney transplantation



# Clinical Diagnosis

J-RBR, except kidney transplantation



# 登録項目

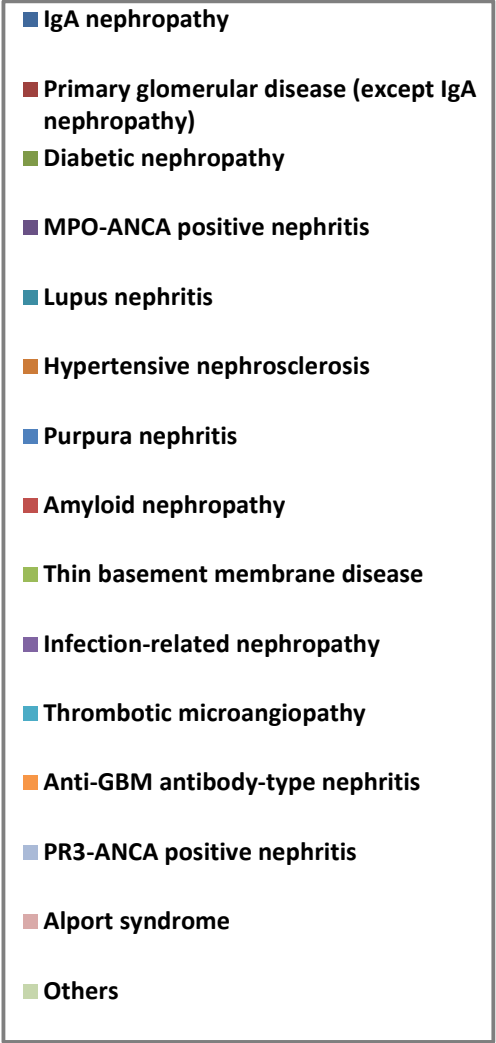
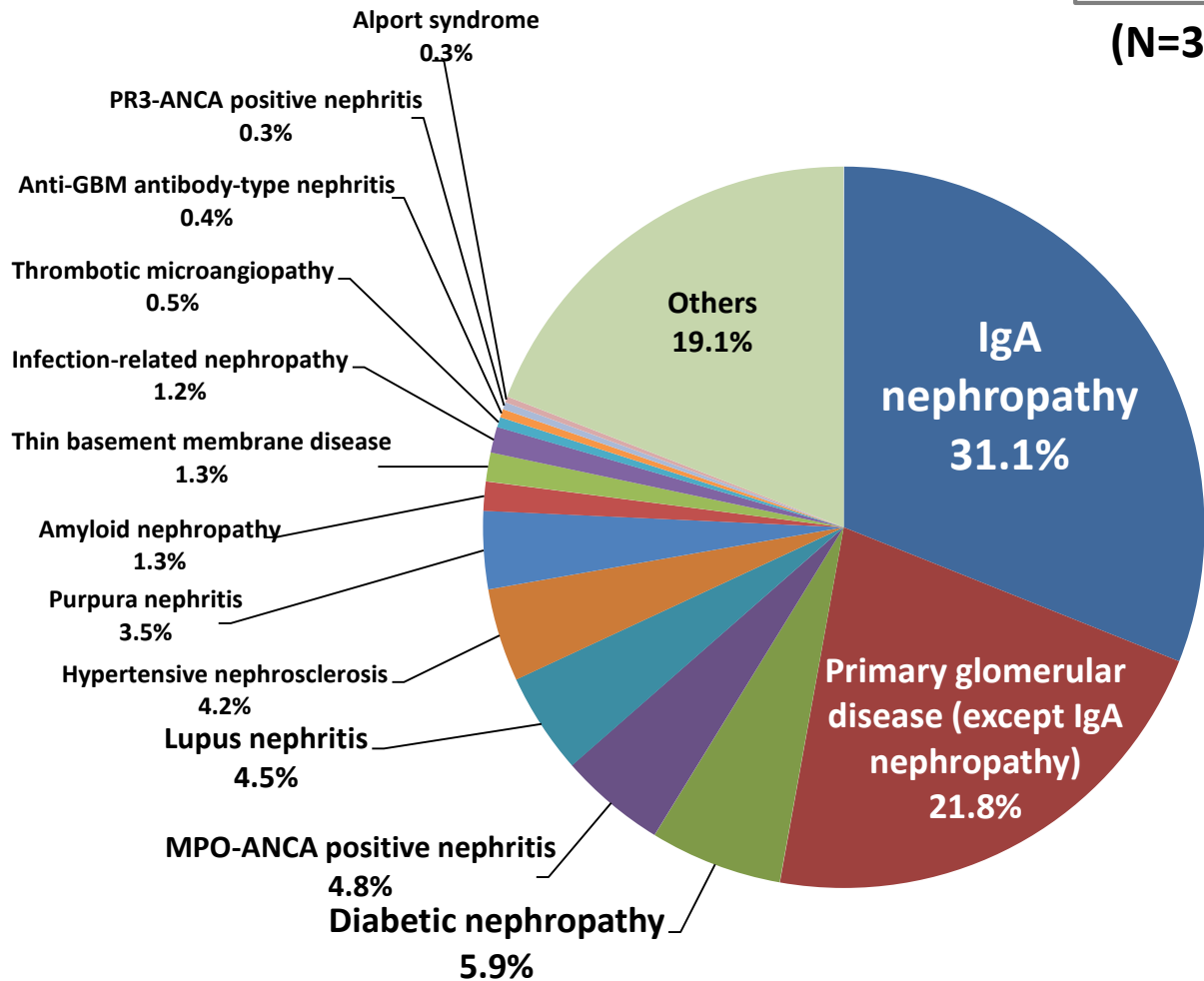
## J-RBR

臨床診断 ※上下各段より1項目選択可	病理組織診断1(病因分類)	病理組織診断2(病型分類)
急性腎炎症候群	原発性糸球体疾患(IgA腎症を除く)	微小糸球体変化
急速進行性腎炎症候群	IgA腎症	巣状分節性糸球体硬化症
反復性または持続性血尿	紫斑病性腎症	膜性腎症
慢性腎炎症候群	ループス腎炎	メサングウム増殖性糸球体腎炎
ネフローゼ症候群	MPO-ANCA陽性腎炎	管内増殖性糸球体腎炎
代謝性疾患に伴う腎障害	PR3-ANCA陽性腎炎	膜性増殖性糸球体腎炎(I型、III型)
膠原病・血管炎に伴う腎障害	抗GBM抗体型腎炎	Dense Deposit Disease
高血圧に伴う腎障害	高血圧性腎硬化症	半月体形成性壊死性糸球体腎炎
遺伝性腎疾患	血栓性微小血管症	硬化性糸球体腎炎
急性腎不全	糖尿病性腎症	腎硬化症
薬剤性腎障害	アミロイド腎症	急性間質性腎疾患
腎移植	アルポート症候群	慢性間質性腎疾患
先天性腎尿路異常(CAKUT)	菲薄基底膜病	急性尿細管壊死
多発性嚢胞腎(PKD)	感染症関連腎症	移植腎
HUS/TTP	移植腎	その他(備考入力)
その他(備考入力)	その他(備考入力)	

# Pathological diagnosis 1

J-RBR, Classified by pathogenesis; except transplanted kidney

*J-RBR*  
(N=3728)



# 登録項目

## J-RBR

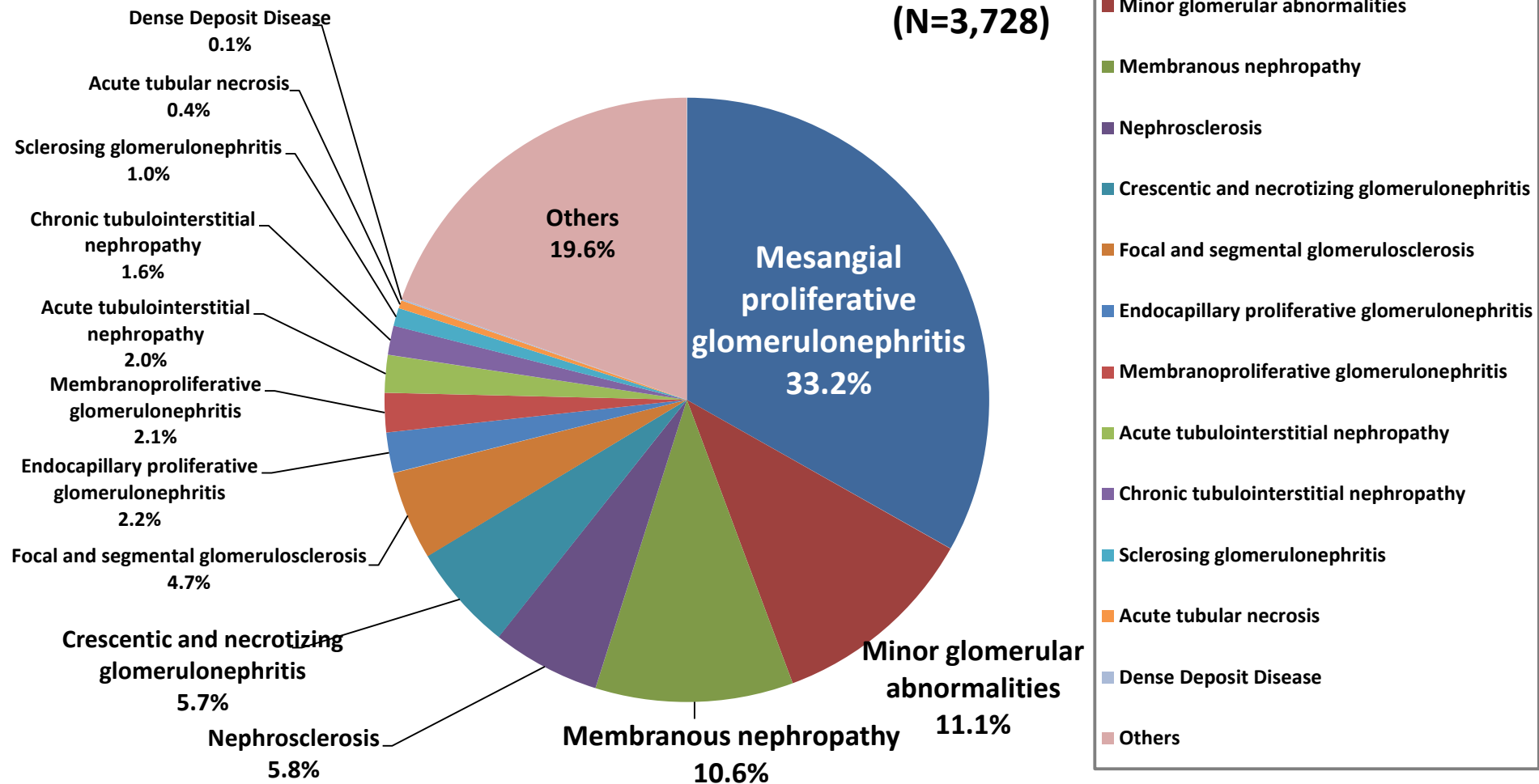
臨床診断 ※上下各段より1項目選択可	病理組織診断1(病因分類)	病理組織診断2(病型分類)
急性腎炎症候群	原発性糸球体疾患(IgA腎症を除く)	微小糸球体変化
急速進行性腎炎症候群	IgA腎症	巣状分節性糸球体硬化症
反復性または持続性血尿	紫斑病性腎症	膜性腎症
慢性腎炎症候群	ループス腎炎	メサングウム増殖性糸球体腎炎
ネフローゼ症候群	MPO-ANCA陽性腎炎	管内増殖性糸球体腎炎
代謝性疾患に伴う腎障害	PR3-ANCA陽性腎炎	膜性増殖性糸球体腎炎(I型、III型)
膠原病・血管炎に伴う腎障害	抗GBM抗体型腎炎	Dense Deposit Disease
高血圧に伴う腎障害	高血圧性腎硬化症	半月体形成性壊死性糸球体腎炎
遺伝性腎疾患	血栓性微小血管症	硬化性糸球体腎炎
急性腎不全	糖尿病性腎症	腎硬化症
薬剤性腎障害	アミロイド腎症	急性間質性腎疾患
腎移植	アルポート症候群	慢性間質性腎疾患
先天性腎尿路異常(CAKUT)	菲薄基底膜病	急性尿細管壊死
多発性嚢胞腎(PKD)	感染症関連腎症	移植腎
HUS/TTP	移植腎	その他(備考入力)
その他(備考入力)	その他(備考入力)	

# Pathological diagnosis 2

J-RBR, Classified by histopathology; except transplanted kidney

*J-RBR*

(N=3,728)





# 2015年 J-RBR/J-KDR 概要

- 2007年からの累計で2015年末までに31,918例が登録された。  
内訳: J-RBR 28,908例 (90.6%)、J-RBR以外3,010例 (9.4%)
- 2015年1年間に4,437例が登録された。  
内訳: J-RBR 4,309例 (97.1%)、J-RBR以外128例 (2.9%)
- 2015年の年間登録数(4,437例)は2014年の年間登録数(3,607例)に比較して830例(23.0%)増加した。(参考: 2013年 3,824例)  
J-RBR: +22.7% (+797例)、J-RBR以外: +34.7% (+33例)
- 参加施設は141施設で、前年139施設から2施設(1.4%)増加した。
- J-RBR 3,858例について臨床診断、病理組織診断(病因分類、病型分類)の解析を、J-RBR以外119例について臨床診断の解析を行った。



# CGA分類ヒートマップ: 全体

2015 J-RBR, 20歳以上, 移植・再腎生検症例除く

CKD stage	<b>A1</b> 一日尿蛋白 < 0.15g and 随時尿蛋白/Cr比 < 0.15 and 尿蛋白定性 (-),(±)	<b>A2</b> 0.15g ≤ 一日尿蛋白 < 0.5g or 0.15 ≤ 随時尿蛋白/Cr比 < 0.5 or 尿蛋白定性 (1+)	<b>A3</b> 0.5g ≤ 一日尿蛋白 or 0.5 < 随時尿蛋白/Cr比 or 尿蛋白定性 (2+),(3+),(4+)	<b>Subtotal</b>
<b>G1</b>	48 (1.4%)	92 (2.8%)	363 (10.9%)	503 (15.1%)
<b>G2</b>	74 (2.2%)	144 (4.3%)	856 (25.7%)	1,074 (32.9%)
<b>G3a</b>	34 (1.0%)	59 (1.8%)	507 (15.2%)	600 (18.0%)
<b>G3b</b>	25 (0.8%)	63 (1.9%)	410 (12.3%)	498 (15.0%)
<b>G4</b>	17 (0.5%)	41 (1.2%)	321 (9.7%)	379 (11.4%)
<b>G5</b>	6 (0.2%)	17 (0.5%)	249 (7.5%)	272 (8.2%)
<b>Subtotal</b>	204 (6.1%)	417 (12.5%)	2,715 (81.4%)	1,631 (49.0%) / 3,326 (100%)

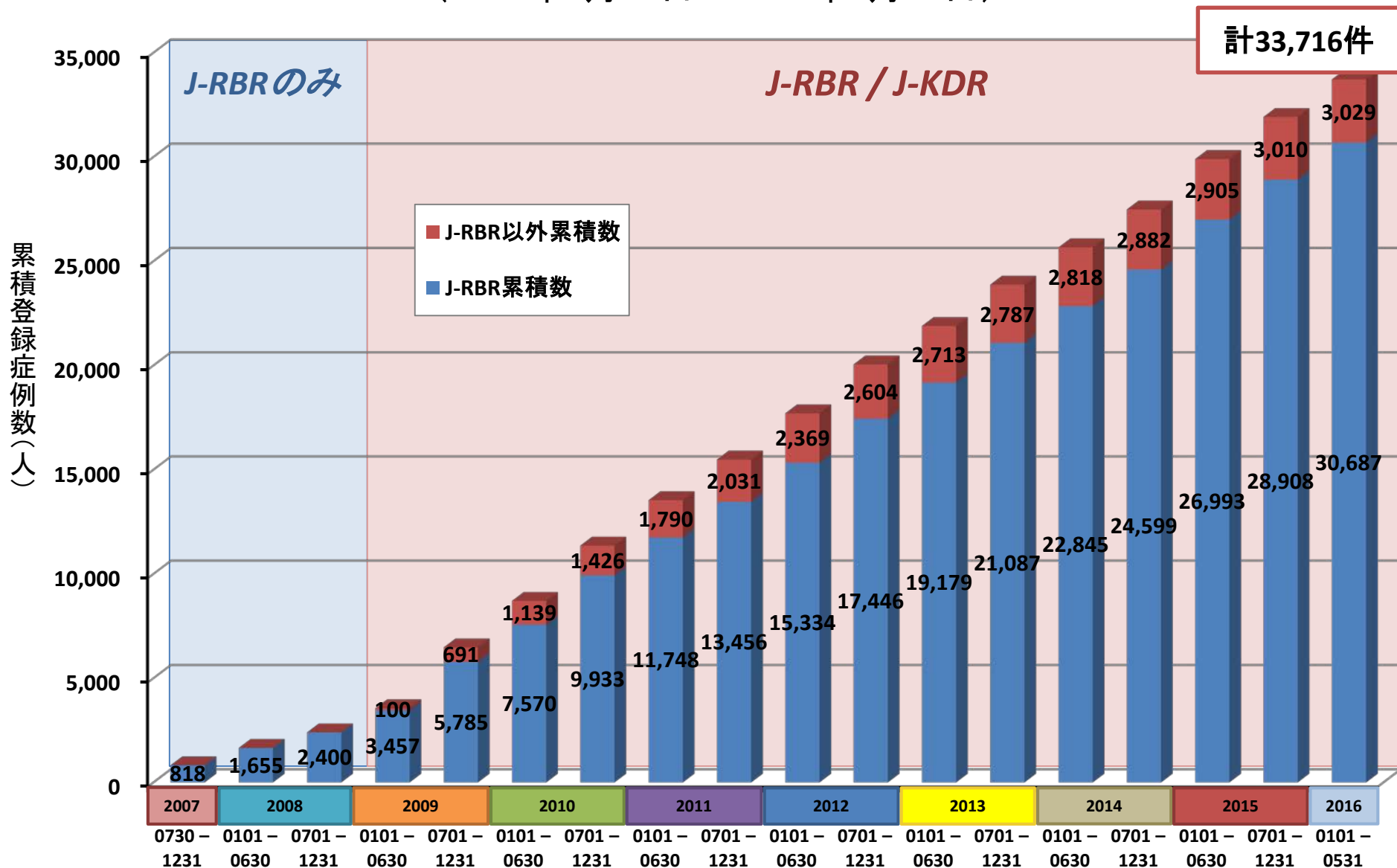
# CGA分類ヒートマップ: IgA腎症

2015 J-RBR, 20歳以上, 移植・再腎生検症例除く

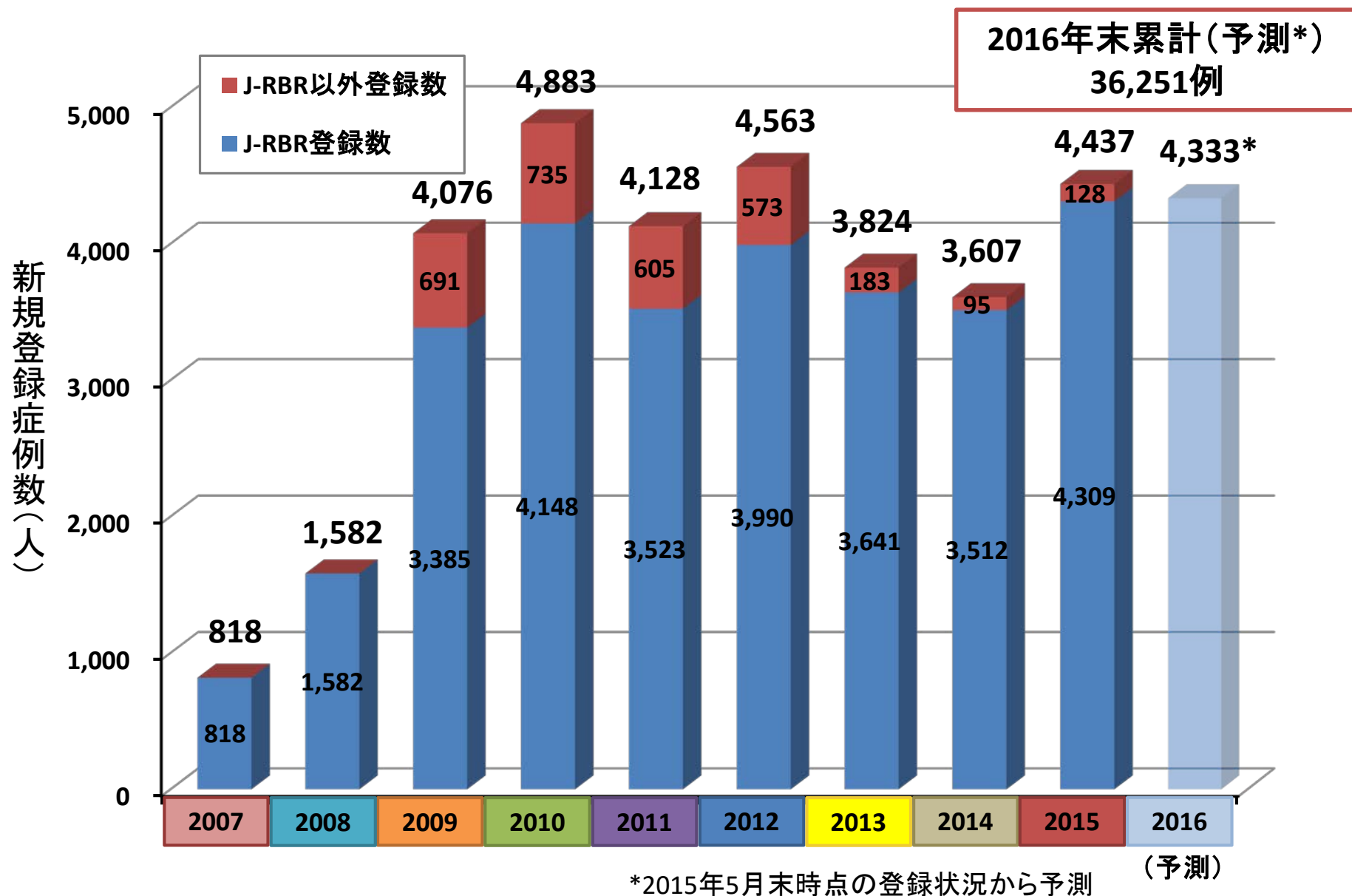
CKD stage	A1 一日尿蛋白 < 0.15g and 随時尿蛋白/Cr比 < 0.15 and 尿蛋白定性 (-),(±)	A2 0.15g ≤ 一日尿蛋白 < 0.5g or 0.15 ≤ 随時尿蛋白/Cr比 < 0.5 or 尿蛋白定性 (1+)	A3 0.5g ≤ 一日尿蛋白 or 0.5 < 随時尿蛋白/Cr比 or 尿蛋白定性 (2+),(3+),(4+)	Subtotal
<b>G1</b>	23 (2.3%)	59 (5.8%)	125 (12.4%)	207 (20.5%)
<b>G2</b>	22 (2.2%)	81 (8.0%)	303 (30.0%)	406 (40.2%)
<b>G3a</b>	8 (0.8%)	23 (2.3%)	157 (15.5%)	188 (18.6%)
<b>G3b</b>	5 (0.5%)	18 (1.8%)	112 (11.1%)	135 (13.4%)
<b>G4</b>	1 (0.1%)	6 (0.6%)	49 (4.9%)	56 (5.5%)
<b>G5</b>	0	0	18 (1.8%)	18 (1.8%)
<b>Subtotal</b>	59 (5.8%)	187 (18.5%)	764 (75.6%)	361 (35.7%) / 1,010 (100%)

# 2007–2016 J-RBR/J-KDR 累積患者数推移

(2007年7月30日～2016年5月31日)



## 2007-2016 J-RBR/J-KDR新規登録患者数推移



# 腎臓病総合レジストリーに関するデータ管理 および利用規定、細則、遵守事項



<http://www.jsn.or.jp/member/registry/kitei.php>

1. 「日本における腎臓病総合レジストリー」に関する管理  
および利用規定 [PDF 97KB]
2. 「日本における腎臓病総合レジストリー」に関するデー  
タ利用と二次研究に関する細則 [PDF 115KB]
3. 「日本における腎臓病総合レジストリー」に関するデー  
タ利用と二次研究に関する遵守事項 [PDF 106KB]
4. 「日本における腎臓病総合レジストリー」利用申請書  
[word 31KB]
5. 「腎臓病総合レジストリー」データ利用申請許可書  
[word 46KB]



# 二次研究

- JNSCS: 日本ネフローゼ症候群コホート研究 2009年～
  - J-IDCS: 日本透析導入患者コホート研究
  - J-IGACS: IgA腎症の腎病理所見とその予後の関連に関する前向き多施設共同研究
  - J-RPGNCS: 急速進行性糸球体腎炎レジストリーの作成、発症率、再発率、副作用および予後に関する観察研究
  - J-DNCS: 糖尿病性腎症例を対象とした予後、合併症、治療に関する観察研究
  - J-PKD: 多発性嚢胞腎患者全国登録による多施設共同研究
  - 高齢者ネフローゼ症候群の予後に関する観察研究(コホート研究) 2011年～
  - 紫斑病性腎炎: 成人紫斑病性腎炎の予後に関する観察研究(コホート研究) 2016年～
  - ループス腎炎: 成人ループス腎炎の予後に関する観察研究(コホート研究) 2016年～
- \* 研究代表者にアクセス権の付与



# 公募研究(1)

2011年

- 高齢者ネフローゼ症候群の解析  
横山 仁 (J-KDR201001) (Yokoyama Clin Exp Nephrol 2012)
- 原発性糸球体腎炎の尿蛋白量に及ぼす肥満の影響に関する研究  
米倉由利子、後藤俊介、西 慎一 (J-RBR201001) (Yokoyama CEN 2015)

2012年

- J-RBR/J-KDR登録RPGN症例の臨床データ、病理組織診断の解析  
杉山 斉 (J-KDR201101)
- J-RBR/J-KDRの糖尿病性腎症関連登録例とJDN-CS登録例の比較検討  
和田隆志 (J-KDR201102) (Furuichi Clin Exp Nephrol 2013)

2013年

- J-RBR を利用したわが国のループス腎炎の腎生検時における臨床像、組織所見の検討 廣村桂樹 (J-RBR201201) ASN 2015
- J-RBRデータ解析によるIgA腎症と紫斑病性腎症の診断時臨床像の比較  
小松弘幸 (J-RBR201202) ASN 2014 (Komatsu Clin Exp Nephrol 2016, in press)



# 公募研究(2)

2014年

- J-RBRを利用した、わが国のリウマチ・膠原病関連腎症の腎生検における臨床像、組織所見の検討 今田恒夫(J-RBR201301) JSN2015委員会企画
- J-RBRを利用した、わが国の感染症関連腎症の臨床像と腎病理所見についての検討 玉垣圭一(J-RBR201302) JSN2015ポスター発表
- 厚生労働省アミロイドーシス調査研究班における疫学研究的資料として使用 西 慎一(J-RBR201303)

2015年

- IgA腎症の診断時臨床像の地域差に関する比較検討  
岡林佑典、坪井伸夫、横尾 隆(J-RBR201501) JSN2016委員会企画、ASN2016 submitted
- J-RBRを利用した、わが国の膜性増殖性糸球体腎炎(MPGN)の臨床像と腎病理所見についての検討  
中川直樹(J-RBR201502) JSN2016委員会企画、ASN2016 submitted

2016年 委員会、参加施設に公募(2016年6月20日～7月19日予定)





# 腎臓病総合レジストリーの公募研究に関する規定

<http://www.jsn.or.jp/member/registry/post-2.php>

## 腎疾患レジストリー腎病理診断標準化委員会

1. 本規定は、日本腎臓学会「日本における腎臓病総合レジストリーに関するデータ管理および利用規定」、「データ利用と二次研究に関する細則」、「データ利用と二次研究に関する遵守事項」(2009年11月30日理事会承認、2010年7月30日腎臓学会ホームページ掲載)に則り運用される。  
注:上記利用規定により、腎疾患レジストリー腎病理診断標準化委員会を登録委員会と称する。
2. 腎臓病総合レジストリーJ-KDRの公募研究は、腎臓病総合レジストリー公募研究(Research of J-KDR in JSN)、J-RBRを利用した公募研究は、腎生検レジストリー公募研究(Research of J-RBR in JSN)と称する。  
注:J-KDR, Japan Kidney Disease Registry; J-RBR, Japan Renal Biopsy Registry; JSN, Japanese Society of Nephrology
3. 申請は「日本における腎臓病総合レジストリー」利用申請書(2009年11月30日理事会承認、2010年7月30日腎臓学会ホームページ掲載)を用いて行う。
4. 年度毎に腎臓学会ホームページで公募を行う。応募期間は前年データについて、その年の学術総会終了後より1ヶ月間を目安とする。  
例)2010年データベース:2011年6月18日~7月17日
5. 応募資格について、申請者は継続して登録の実績を有する施設に所属し、「データ利用と二次研究に関する細則」および「データ利用と二次研究に関する遵守事項」を遵守できる申請者とその共同研究者に限られる。
6. 公募件数は年間5件までとする。内容が重複する研究については登録委員会委員長が取りまとめ、できるだけ統一した研究に一本化して審査する。



# 腎臓病総合レジストリーの公募研究に関する規定

<http://www.jsn.or.jp/member/registry/post-2.php>

## 腎疾患レジストリー腎病理診断標準化委員会

7. 登録委員会委員長は、承認された公募研究に対し1研究あたり2名の登録委員会担当委員を指名する。研究内容により臨床系2名、または病理系2名、またはそれぞれ1名の委員が担当する。担当委員は公募研究者と共同で研究を行い公募研究の進捗状況について委員会で報告を行う。
8. 承認された研究には、J-KDR201001～J-KDR201005、J-RBR201001～J-RBR201005の研究番号が付与される。学会、論文発表の際にはこの研究番号と、腎臓病総合レジストリー公募研究 (Research of Japan Kidney Disease Registry in Japanese Society of Nephrology)、腎生検レジストリー公募研究 (Research of Japan Renal Biopsy Registry in Japanese Society of Nephrology) の名称を記載する。
9. 公募研究の研究成果は翌年の腎臓学会学術総会(委員会企画または一般演題)で発表を行う。  
例) 2010年データベースの公募研究→2012年 学術総会
10. 論文発表は英文を基本とし、CEN (Clinical and Experimental Nephrology) または国際英文誌に発表する。
11. Authorshipに関して、学会、論文発表の際、共著者として担当委員(2名)、登録委員会委員長を原則として含める。
12. 学会発表後には抄録を、論文発表の際は別刷を各1部、腎臓学会事務局に速やかに提出する。

付則 この規定は、平成23年2月1日より施行する。規定の変更は、平成24年8月26日より施行する。規定の変更は、平成26年10月25日より施行する。



# 腎臓病総合レジストリーレポート一覧

- 腎臓病総合レジストリー（J-RBR/J-KDR）2014年次報告と経過報告 [PDF 937KB]  
杉山 斉、佐藤 博、長田 道夫、上田 善彦、横山 仁  
2015年6月5日（金） 第58回日本腎臓学会学術総会
- 腎臓病総合レジストリー（J-RBR/J-KDR）2013年次報告と経過報告 [PDF 1.6MB]  
杉山 斉、佐藤 博、上田 善彦、横山 仁  
2014年7月4日（金） 第57回日本腎臓学会学術総会
- 腎臓病総合レジストリー J-RBR/J-KDR 活動内容について [PDF 535KB]  
杉山 斉、佐藤 博、上田 善彦、横山 仁  
2013年5月11日（土） 第56回日本腎臓学会学術総会

## ● J-RBR/J-KDRレポート論文

- Nakashima H, et al. Clin Exp Nephrol. 2016 Mar 25. [Epub ahead of print] IgG4関連腎臓病
- Yokoyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2015 Nov 21. [Epub ahead of print] 薬剤性腎障害
- Komatsu H, et al. Clin Exp Nephrol. 2015 Oct 11. [Epub ahead of print] 紫斑病性腎炎
- Yokoyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2015 Jun;19(3):496-505. 高齢者ネフローゼ
- Yonekura Y, et al. Clin Exp Nephrol. 2015 Jun;19(3):359-70. 体格と蛋白尿
- Furuichi K, et al. Clin Exp Nephrol. 2013 Dec;17(6):819-26. 糖尿病性腎症
- Sugiyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2013 Apr;17(2):155-73. 年次報告
- Yokoyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2012 Dec;16(6):903-20. 高齢者腎臓病
- Yokoyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2012 Aug;16(4):557-63. 膜性腎症
- Sugiyama H, et al. Clin Exp Nephrol. 2011 Aug;15(4):493-503. 年次報告

腎臓病患者のインターネット症例登録システム  
腎臓病総合レジストリー(J-KDR)  
腎生検レジストリー(J-RBR)

連続コホート調査

登録データ解析  
(一次研究)

腎臓病に関する多施設コホート研究  
前向き・過去起点(二次研究)

診療実態と患者アウトカムに関するエビデンスを発信



# 日本腎臓学会

## J-RBR/J-KDR 関連委員会

### 腎疾患レジストリー・腎病理診断標準化委員会

横山 仁、長田道夫、上田善彦、佐藤 博、北村博司、清水 章、杉山 斉  
西 慎一、香美祥二、服部元史、吉川徳茂、(疫学アドバイザー)清原 裕  
(顧問)松尾清一、槇野博史  
(オブザーバー)今田恒夫、斉藤喬雄、安田宜成、和田 隆志

### 腎生検データベース構築病理WG

長田道夫、上田善彦、北村博司、清水 章、江原孝史、岡 一雅、大橋健一  
金鋼友木子、串田吉生、倉持 茂、小池淳樹、立野正敏、橋口明典、原 重雄  
久野 敏、深澤雄一郎、松岡健太郎 (オブザーバー)横山 仁

### 腎疾患データベース地域・領域中核WG

佐藤 博、香美祥二、杉山 斉、西 慎一、服部元史、横山 仁、吉川徳茂  
猪阪善隆、石村栄治、伊藤孝史、上村 治、内田俊也、上條祐司、河田哲也  
川端雅彦、川村哲也、黒木亜紀、佐々木 環、笹富佳江、佐藤寿伸、武田朝美  
鶴屋和彦、寺田典生、中川直樹、中屋来哉、成田一衛、幡谷浩史、廣村桂樹  
藤元昭一、古市賢吾、丸山彰一、武曾恵理、湯澤由紀夫  
(オブザーバー)清元秀泰、江田幸政

### 次世代レジストリー検討WG

上田善彦、横山 仁、石山勝也、佐藤 博、杉山 斉、坂井 薫、原 重雄、森永裕士、  
山本陵平

# 参加施設 -1-

J-RBR | J-KDR | CRF/CKD | DM

- 愛知医科大学
- あいち小児保健医療総合センター
- 旭川医科大学
- 足利赤十字病院
- 岩手県立中央病院
- 大分県厚生連鶴見病院
- 大分赤十字病院腎臓内科
- 大阪医科大学小児科
- 大阪市立総合医療センター
- 大阪市立大学第二内科
- 大阪赤十字病院
- 大阪大学
- 大阪府立急性期・総合医療センター
- 大阪府立母子保健総合医療センター
- 岡山済生会総合病院
- 岡山大学
- 香川大学
- 加登病院
- 金沢医科大学腎臓内科
- 金沢医科大学糖尿病内分泌内科
- 金沢医療センター
- 金沢大学
- 川口市立医療センター
- 川崎医科大学

- 九州大学
- 京都医療センター
- 京都大学
- 京都大学内分泌代謝内科
- 京都府立医科大学腎臓内科
- 杏林大学第一内科
- 杏林大学泌尿器科
- 熊本大学
- 倉敷中央病院
- 久留米大学
- 群馬大学
- KKR札幌医療センター
- 県立宮崎病院
- 高知大学
- 高知大学医学部小児思春期医学
- 神戸大学
- 神戸大学小児科学分野
- 公立松任石川中央病院
- 高陵クリニック
- 国立循環器病センター内科高血圧腎臓部門
- 国立成育医療研究センター
- 国立病院機構大阪医療センター
- 国立病院機構九州医療センター
- 国立病院機構千葉東病院

- 国立病院機構千葉東病院泌尿器科
- 済生会滋賀県病院
- 済生会山口総合病院
- 埼玉医科大学腎臓内科
- 埼玉医科大学総合医療センター
- 佐賀大学
- 札幌医科大学
- 産業医科大学腎センター
- 滋賀医科大学内科学講座
- 静岡県立総合病院
- 自治医科大学腎臓内科
- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 島根大学
- 社会保険神戸中央病院
- 順天堂大学
- 昭和大学
- 昭和大学藤が丘病院腎臓内科
- 市立池田病院
- 市立札幌病院
- 信州大学
- 仁真会白鷺病院
- 杉田玄白記念公立小浜病院
- 聖マリアンナ医科大学
- 仙台社会保険病院

# 参加施設 -2-

## J-RBR | J-KDR | CRF/CKD | DM

- 総合病院水島協同病院
- 田附興風会医学研究所北野病院
- 中濃厚生病院
- 筑波大学
- 帝京大学内科
- 帝京大学泌尿器科
- 東海大学腎内分泌代謝内科
- 東京医科大学茨城医療センター
- 東京慈恵会医科大学
- 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
- 東京慈恵会医科大学附属柏病院
- 東京慈恵会医科大学附属病院(本院)
- 東京女子医科大学腎臓小児科
- 東京女子医科大学第四内科
- 東京大学血液浄化療法部
- 東京大学小児科
- 東京大学腎臓内分泌内科
- 東京都立小児総合医療センター
- 東北大学
- 徳島大学小児科
- 徳島大学腎臓内科
- 獨協医科大学
- 獨協医科大学越谷病院
- 鳥取大学周産期・小児医学
- 富山県立中央病院
- 富山市立富山市民病院
- 富山大学第二内科
- 豊中市立豊中病院
- 虎の門病院分院腎センター
- 長崎大学
- 長崎大学医学部第二内科
- 名古屋共立病院
- 名古屋市立大学
- 名古屋市立東部医療センター
- 名古屋大学
- 名古屋第二赤十字病院
- 奈良県立医科大学
- 新潟大学
- 日本医科大学腎臓内科
- 日本大学腎臓高血圧内分泌内科
- 浜松医科大学
- 原口内科・腎クリニック
- 広島大学
- 福井大学腎臓病態内科学
- 福岡赤十字病院
- 福岡赤十字病院小児科
- 福岡大学
- 福岡東医療センター
- 福島県立医科大学
- 藤田保健衛生大学腎内科
- 富士宮市立病院
- 北海道医療センター
- 北海道大学
- 北海道大学小児科
- 医療法人健仁会益子病院
- 三重大学
- 水戸済生会総合病院
- 宮崎大学
- もりやま越野病院
- 山形大学小児科
- 山形大学第一内科
- 山梨大学糖尿病・内分泌・腎臓内科
- 雪の聖母会聖マリア病院
- 横浜市立大学病態制御内科学
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 四日市社会保険病院
- 琉球大学
- 和歌山県立医科大学小児科
- 和歌山県立医科大学腎臓内科・血液浄化センター



# J-RBR/J-KDR 今後の課題と展望

- 一次予後追跡調査(長期データ収集、予後)
- 二次研究の解析と治療・予後データの発表
- 公募研究の促進によるデータ利活用
- 診断名の統一化、登録項目の見直し
- 登録システムの効率化・電子カルテ対応:
  - 次世代レジストリーシステム開発、J-CKD-DBとの連携
- バーチャルスライド、生体試料の登録
- 稀少疾患の全国調査(IgG4-RKD, Fabry腎症, LMX1B腎症, アミロイド腎症, 他)
- 海外レジストリーとの連携(ERA-EDTA IWG, NEPTUNE)